

民間における資源回収量の把握について

現在、県で把握している資源回収量は市町による行政回収分のみであり、民間で実施されている店頭回収・拠点回収や、事業系一般廃棄物のうち事業者自らが処理（処理委託）している量については把握できていない。

については、県内における廃棄物の資源化の傾向をできるだけ正確に把握し、今後の廃棄物政策の策定等に活用するため、民間における資源回収量の調査を行う。

種類	回収(処理)方法		把握	未把握	把握方法
家庭系	行政回収	行政回収	○		一般廃棄物処理事業実態調査
		集団回収	○		一般廃棄物処理事業実態調査
	民間回収	店頭回収		○	調査1
		拠点回収		○	
		業者による回収		○	
事業系	行政による処理		○		一般廃棄物処理事業実態調査
	自社での処理			○	調査2

【調査1】家庭からの、行政回収分以外の資源化量を把握

店頭回収・拠点回収を実施している事業者及び古紙回収事業者に対して、持ちこまれた資源物の種類、回収量などについてアンケート調査を実施する。

①対象事業者の把握

店頭回収事業者→経済センサス・基礎調査事業者名簿から、小売店（スーパー）を選定

拠点回収事業者・古紙回収事業者→例年実施している市町への取組状況調査の際、把握している事業者の情報提供を依頼

②実施時期

市町への取組状況調査実施後（8月～9月）

【調査2】事業所からの資源化量の把握

(1) 毎年実施している事業者への取組状況調査に質問項目を追加し、排出量を推計

①対象事業者

企業環境ネットワークみえ会員事業者（H23/4/1 現在 338社）

②実施時期

事業者への取組状況調査において実施（7月～8月）

(2)平成 22 年度事業者調査のデータを使用し、資源化量を推計

業種別・規模別の1事業者1週あたりのごみ種類別資源化量についてのデータを使用し、1事業者1週あたりのごみ種類別資源化量を算出したうえで、事業者数と52(週)を乗じて業種別年間資源化を算出。

【調査1、調査2】の結果については、アンケートを集計後、次回プラン推進委員会において速報値を提出する。

【参考資料】

●福井県 民間資源化量調査結果

店頭回収事業者と古紙回収事業者への調査を元に、県内の民間における資源化量を推計している。

●【調査2】(2)の方法による、事業所からの資源化量の推計結果

【調査2における(1)事業者取組状況調査追加質問項目】

問 あなたの事業所から発生する「資源ごみ」は、どのように処理していますか？

資源物の種類	H23 排出量 (単位：t)	処理方法		
		市町のごみ 処理施設へ 搬入	資源回収 業者へ 引き渡し	その他 (具体的方法をご記入ください)
古紙類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(.....)
金属類 (缶類)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(.....)
ビン類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(.....)
ペットボトル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(.....)
その他 (.....)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	(.....)